

ICTを活用しつつ、交流活動の充実を図る

繰り返し活動し表現する 生活科の指導の工夫

第1・2学年「つくってあそぼう」の実践より

実践例：第1・2学年「つくってあそぼう」

例年、同単元異内容で行っている学習です

主な学習活動

【第1学年】身近な自然物を使って遊びや遊びに使う物をつくる → お店を開く
 【第2学年】身近にある物を使って動くおもちゃをつくる

遊ぶ物ができたら
 近隣の中規模校と
 一緒に「お店」を開き
 お祭りをするので
 子供たちが楽しみに
 している学習の
 一つです



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A年度		がっこうだいすき		なつかやってきた		いきもの なかよし	たのしいあき いっぱい		ふゆをたのしもう			
A・B年度共通	がっこう だいすき	【第1学年】 きれいにさいてね 【第2学年】 ぐんぐんそだてわたしの野さい					【第1学年】 たのしい あきいっぱい 【第2学年】 うごくうごく わたしのおもちゃ	中規模校との 交流		【第1学年】 じぶんでできるよ もうすぐ2ねんせい 【第2学年】 あしたヘジャンプ		
B年度		どきどきわくわく まちたんけん		いきものなかよし だいさくせん		みんなで つかうまち のしせつ	もっとなか よしまちた んけん		つながるひろがる わたしのせいかつ			

前年度の課題

遊ぶ物をつくり、学級で店を開いても、少人数であるため、遊び方や伝え方など、表現を工夫する姿につながりにくいまま、中規模校との交流を迎えてしまった…

「お祭り」の交流は予定しているけれど、今年度はどんなふうに学習を進めよう？



STEP① 相手に分かりやすい「伝え方」を意識させたいな

STEP② 店と客、それぞれの立場で活動を充実させたいな

STEP③ 相手意識をもって関わる経験をさせたいな

STEP④ 様々な友達との対話や関わりを充実させたいな

STEP⑤ 繰り返し活動してきたことを生かしたいな

何度も試行錯誤して、いろいろな工夫をしながら、子供たちが自信をもってお店で活動できるようにしたい！

STEP①

学級内でタブレットを活用して、よりよい「伝え方」を考える

遊び方を説明します！



ぼくが、撮影を手伝うよ！
トントン、たたいて遊ぶんだね

自分のお店の遊び方を説明する動画を撮影する。

【ICT活用のポイント】

- ◎ 自分が説明している言葉や動作などを自分で確認することができる。
- ◎ 子供が「伝え方」に着目して、改善につなげることができる。
- ◎ 何度でも撮り直すことができるので、自分が納得できるまで繰り返し取り組むことができる。



お互いにじっくり見合う機会になり、
1年生が2年生のまねをしたり
2年生が1年生を手伝ったりするなど
関わり合う姿も見られるよ

STEP②

学級内でタブレットを活用して、互いのお店を楽しむ

楽しそうだね！
やってみたいな



なるほど、
こうやって遊ぶんだね！
さっそくやってみよう

【ICT活用のポイント】

◎ 必ずしも「店」と「客」の役割を交代制にしなくても、動画を活用して、個々の思いに合わせた活動ができる。

時間を設定した交代制にすると
「ちょっと手直ししたい」、
「新しいアイデアを思い付いて
つくり足したい」といったときに
すぐに動けないよね

これならお客さんも困らないし、
客としてお店に行きたいときにも
説明を聞いて楽しめるね！



STEP③

併設されている幼稚園との交流の機会を設定する

併設している幼稚園との交流を学習活動に位置付け、園児との交流を楽しみました！

【交流のポイント】

- ◎ 年下の友達に対して、もっと遊びを楽しくしたい、もっと分かりやすく説明したい等、相手意識をもって活動することができる。

日常的に交流している幼稚園だから活動もスムーズだね！

年下の友達だから丁寧に説明しよう意識するし、繰り返し説明することで、お店をすることにも慣れていくね！



学級

幼稚園との交流

中規模校との交流

STEP④

中規模校の友達と「お祭り」でお店を開いて交流する

【交流のポイント】

- ◎ 様々な友達と関わるチャンスとして、その場でのやり取りを促す。



いらっしゃいませ！

こちらどうぞ！

ここは〇〇やさんだね

やってみたいです！

いいですよ！

おもしろい！
もう一回、していい？



いろいろなお店で遊ぶこともこの交流ではとても大切！！

【ICT活用のポイント】

- ◎ 運営で人手が足りないところは動画で補うなどして、最も経験させたい活動を充実させる。

看板や店の宣伝を映すこともできるね！
シナリオどおりの説明はタブレット動画に任せることも考えられるよ！
次のお客さんが来ても、あわてない！！



STEP⑤

自校でもう一度、他学年を招いてお店屋さんを開く

もう一度やりたい！
全校のみんなにも楽しんでほしい！
という子供たちの思いを受けて
全校で交流する機会をもちました



学級

全校児童を相手に
お店を開く

中規模校との
交流

幼稚園との交流

【交流のポイント】

- ◎ これまでの気づきを生かして、更に工夫しようとする意欲につながる。
- ◎ 上学年から、新たな刺激を受けて、自分の遊びに取り入れようとする姿勢につながる。



幼稚園にも
また招待状を出そう！

今度は幼稚園の友達も
お店やさんをしたって
言ってたよ

一緒にお店やさんにな
るのもいいね！



ポイント・まとめ

- 何度も交流の場面を設定することで、子供は試行錯誤を繰り返しながら、遊びに使う物や遊び方を工夫して活動したり、考えを巡らせたりすることができます。
- タブレットなどのICTを活用することで、単元のねらいをより焦点化した学習活動の充実が図れます。

子供に何を体験させたいかを
しっかり見通した上で
ICTの活用を考えるといいね！



タブレットの動画は
保護者に活動の様子を
伝える手立てにもなるよ！
ぜひ、保護者の方にも見てもらい、
子供にフィードバックの
声掛けをしてもらおう！